

財団法人 英語教育協議会

平成18年度(2006年度)事業報告・決算書

# 平成18年度（2006年度）事業報告（抜粋）

## 1. 英語教育に関する研究

"Advisory Board"（委員長：小池生夫 明海大学教授、委員：和田稔 明海大学教授、金谷憲 東京学芸大学教授）を開催し、文部科学省「行動計画」研修の実施状況など英語教育の現状、E L E Cにて開催している英語教員に対する研修会の講師と内容、『英語展望』のテーマと執筆者、E L E C創立50周年事業計画、などについて助言をいただいた。

## 2. 英語教員に対する専門的な研修会の開催

### (1) E L E C 英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとに、E L E C 英語研修所にて中学・高校英語教員を対象に26日間の英語教授法・指導技術研修会を実施した。参加人数は延べ685名で、昭和32年以来の受講者累計は14,369名となった。

### (2) 文部科学省「行動計画」に基づく教員研修会支援事業

「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」（2003年、文部科学省）に基づく教育委員会主催英語教員研修会の実施にあたり、東京都、栃木県、埼玉県、仙台市および横須賀市教育委員会英語教員研修会に協力・支援を行った。

### (3) その他教育委員会主催 教員研修会支援事業

東京都、岐阜県、各教育委員会主催の教員研修会に協力・支援を行った。

### (4) 文部科学省委嘱事業「英語指導力開発ワークショップ」支援事業

文部科学省は2005年度より中核的指導者養成を目指す「英語指導力開発ワークショップ」事業を立ち上げた。E L E C は、宮城教育大学が実施主体となる上記事業の英語運用能力向上ための研修支援を実施した。

## 3. 一般成人に対する英語講習会等の開催

### (1) E L E C 英語研修所(The ELEC Institute)

\* 受講生へのサービスの一環として行っている下記の項目については好評であったので、今後も続けていきたい。

1. 学期末に行われる補講レッスン。
2. 書籍を貸し出す「ミニ・ライブラリー」。
3. 宿題の送付。

\* 2006年度のコースは前年度とほぼ同じであった。

総合英会話コ-ス：

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 午前部 | 週2日コース（月・水／火・木） |
|     | 週1日コース（火／金／土）   |
| 午後部 | 週2日コース（月・水／火・木） |

週1日コース(木 / 金 / 土)  
夜間部 週1日コース(月 / 火 / 水 / 木 / 金)

試験対策コース:

夜間部 TOEIC受験コース(火/金)  
TOEFL受験コース(火/金)

ビジネス英語コース

夜間部 ビジネス英語上級コース(火)  
ビジネス英語中級コース(金)  
ビジネス英語上級コース(土)

スキル・トピック別コース

リスニング(初級・中級)(火)  
ムービー (金)  
リスニング(中級) (金)

ディスカッションコース(中・上級) (金)  
ディスカッションコース(上級) (金)  
ディスカッションコース(上級) (土)

個人レッスン:

週1回 月、火、水、木、金の午前・午後(1レッスン50分)

\* 2006年度も新規受講生獲得のために無料体験レッスンを実施した。

## (2)企業内研修

\* 本年度の企業内研修は合計38、その内訳は28の官公庁、企業と10の大学研修であった。19年目に入った江東区文化センターの研修は、5センターにて合計42講座を運営し、オリジナル教材も引き続き使用した。

\* 英語力テスト

昨年度に引き続き企業研修のレベルチェックと研修所ファイナル・テストとしてSDT- を使用し、TOEICのIPテストは企業内研修で実施した。

\* 英文添削

本年度の英文添削サービスの利用件数は個人16名並びに法人2社であった。依頼内容は主として海外大学院応募論文や研究論文の添削、中学/高校教材原稿などであった。

#### 4. 英語教育に関する資料の頒布

##### (1) 定期刊行物

『英語展望』(E L E C Bulletin) 第113号  
特集『21世紀の英語教育を創る』

English Teaching FORUMの頒布 Vol.44 Nos. 1, 2, 3, 4

##### (2) ELEC創立50周年特別刊行物

『英語展望』(E L E C Bulletin) 第114号  
特集『英語教育のナショナル・ストラテジー』

##### (3) 録音教材

昨年同様、諸教育団体、各種学校、出版社等のための語学教材等の録音を行った。

#### 5. 英語教育の研究に対する援助と助言

##### E L E C 賞

2006年度のE L E C賞は、厳正な審査の結果、該当なしとされた。

#### 6. 語学教育研究諸機関との連絡協力

諸大学、言語教育研究諸機関との間に、刊行物の相互交換を行った。また、「日本外国語教育改善協議会」にE L E Cの職員を参加させ積極的に協力した。尚「日本外国語教育改善協議会」はELECほか主要英語教育研究団体及び高等学校ドイツ語教育研究会で構成され、外国語教育の現状に対する認識及び将来への展望に基づき改善策を講じ、アピールをまとめて行政機関に提言を行っている。

#### 7. その他の事業

E L E C 創立50周年記念 特別講演会及び懇親会

E L E C 創立50周年記念 E L E C 賞授与式・特別講演会において國弘正雄氏(エディンバラ大学特任客員教授・元参議院議員)による講演会「21世紀の世界と日本」を実施し、40名以上が来場した。また懇親会を実施、英語教育界での交流をはかった。

# 正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	43,996,281	25,161,170	18,835,111
会費収入	0	0	0
事業収益	262,160,522	284,859,113	-22,698,591
寄付金収入	0	0	0
雑収益	72,239,802	17,011,101	55,228,701
経常収益計	378,396,605	327,031,384	51,365,221
(2) 経常費用			
事業費	246,755,388	239,931,450	6,823,938
管理費	102,301,215	93,496,691	8,804,524
経常費用計	349,056,603	333,428,141	15,628,462
当期経常増減額	29,340,002	-6,396,757	35,736,759
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度分有価証券評価益	39,333,624	0	39,333,624
経常外収益計	39,333,624	0	39,333,624
(2) 経常外費用			
過年度分基財有価証券評価損	19,613,000	0	19,613,000
過年度分有価証券評価損	4,575,000	0	4,575,000
過年度分減価償却費	82,663,969	0	82,663,969
経常外費用計	106,851,969	0	106,851,969
当期経常外増減額	-67,518,345	0	-67,518,345
当期一般正味財産増減額	-38,178,343	-6,396,757	-31,781,586
一般正味財産期首残高	1,245,956,739	1,252,353,496	-6,396,757
一般正味財産期末残高	1,207,778,396	1,245,956,739	-38,178,343
正味財産期末残高	1,207,778,396	1,245,956,739	-38,178,343

# 貸 借 対 照 表

平成19年3月31日現在

(単位 :円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産	75,498,250	86,498,515	-11,000,265
2.固定資産			
基本財産	914,306,000	911,348,000	2,958,000
その他の固定資産	310,134,131	352,196,282	-42,062,151
資産合計	1,299,938,381	1,350,042,797	-50,104,416
II 負債の部			
1.流動負債	28,609,985	27,448,058	1,161,927
2.固定負債	63,550,000	76,638,000	-13,088,000
負債合計	92,159,985	104,086,058	-11,926,073
III 正味財産の部			
一般正味財産	1,207,778,396	1,245,956,739	-38,178,343
(うち基本財産への充当額)	914,306,000	911,348,000	2,958,000
正味財産合計	1,207,778,396	1,245,956,739	-38,178,343
負債及び正味財産合計	1,299,938,381	1,350,042,797	-50,104,416

# 財 産 目 録

平成 19年 3月 31日現在

(単位 :円)

	科 目	金 額	
I	資 産 の 部		
	1.流 動 資 産		
	現金	376,307	
	預金	14,931,806	
	受取手形	0	
	売掛金	38,878,815	
	仮払金	0	
	前払金	3,768,999	
	未収金	6,376,389	
	商品	11,165,934	
	流動資産合計		75,498,250
	2.固 定 資 産		
	基 本 財 産		
	預金・国債	914,306,000	
	基本財産合計	914,306,000	
	その他の固定資産		
	設 備	50,914,273	
	備 品	3,313,818	
	投資有価証券	216,283,000	
	職 員 融 資 金	0	
	保 証 金	39,623,040	
	その他の固定資産合計	310,134,131	
	固定資産合計		1,224,440,131
	資 産 合 計		1,299,938,381
II	負 債 の 部		
	1.流 動 負 債		
	未払金	26,167,787	
	前受金	1,317,650	
	買掛金	67,241	
	預り金	1,057,307	
	流動負債合計		28,609,985
	2.固 定 負 債		
	退職給与引当金	63,550,000	
	固定負債合計		63,550,000
	負 債 合 計		92,159,985
	正 味 財 産		1,207,778,396